

1. 専門部が行う感染症対策

- (1) 屋内施設においては、常時2方向の窓を開けて換気を行うか30分に1回換気する。
- (2) 共用を避けることが難しい用具等は、こまめに消毒する。
- (3) 更衣室は少人数で短時間の利用とし、「3つの密」を避ける。
- (4) 感染症拡大防止のため無観客とする。選手、役員以外は入場できません。
- (5) 入場口及び会場内に手指の消毒設備を設置する。

2. 参加者への注意事項

- (1) 発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合、体調がよくない場合は参加を見合わせる。
- (2) マスクを持参し、スポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること。
- (3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (4) ドリンクボトルやタオルの共用はしないこと。
- (5) ゴミ（特に鼻水、唾液等がついたもの）は、ビニール袋に入れて密閉し各自持ち帰ること。
- (6) 他の参加者等との距離（最低1m）を確保し、大きな声で会話、応援等をしないこと。
- (7) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに顧問に申し出ること。
- (8) 参加者（観客を含む）は、専門部が定める感染症対策及び注意事項を遵守すること。

3. 全日本柔道連盟が定めるガイドラインによる感染症対策（抜粋）

- (1) 選手・監督・学校関係者は2週間前からの「健康記録表」を学校ごとまとめて受付で提出して下さい。健康記録表を持参しない選手、健康記録表で発熱（37度以上）や症状を有する選手は試合に参加できません。
- (2) 会場入場時に検温をします。37度以上ある場合は参加できません。
- (3) 試合中の大声での指示、指導の禁止。
- (4) 試合者以外は、マスクを着用すること。審判員も試合中着用をして下さい。

4. 熱中症対策

- (1) 環境省熱中症予防情報サイトを参考に適切に対応する。
- (2) WBGT値が31℃以上の場合、競技を中断する。

5. 参加校への注意事項

- (1) 感染症の状況等によっては大会を中止する場合があります。
- (2) 各校で、生徒の検温結果及び健康状況等を把握した上で大会参加してください。
- (3) 生徒及び教職員が、感染者・濃厚接触者となった場合は、保健所が指定する出席停止期間は、大会参加禁止とします。
- (4) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した生徒、教職員がいた場合は、速やかに県専門委員長及び県高体連事務局まで連絡してください。